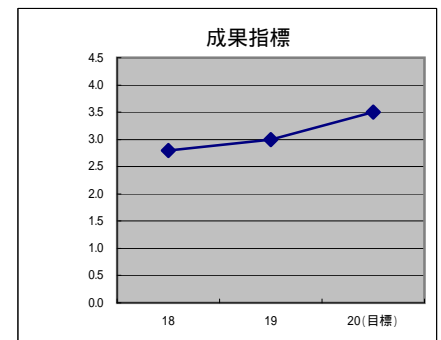
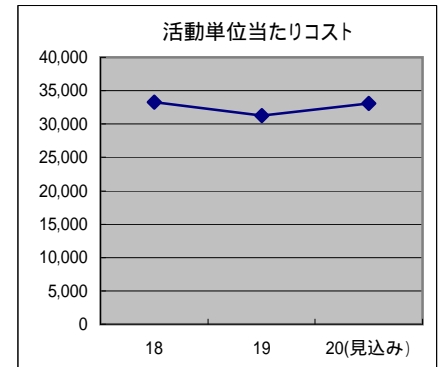


事務事業名		情報セキュリティ対策事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち	款	2	総務費	
	施策(節)	3	行財政運営	項	1	総務管理費	
	施策の方向	(2)	情報通信技術の活用(高度情報化)と情報セキュリティの強化	目	15	情報推進費	
	関連する計画等			事業	1	情報管理	
				作成部署	市長公室政策推進課		
				連絡先	072 958 1111 内線 4730		
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	職員						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
	情報セキュリティレベルの向上を目指す。						
事業の内容	市民の生命・財産・プライバシーを守るため、システムの安全な管理運用を強化するとともに、情報セキュリティ研修の実施や、情報化推進員の各部署への設置など、人的な側面の強化についても情報セキュリティ委員会の方針のもとで全庁的に取り組んでいる。						
根拠法令等	情報セキュリティポリシー、羽曳野市電子計算組織等の管理運用に関する規則						
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 16 年 月開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない 終了年度 平成 年度						
事業開始時からの状況変化	平成 17 年度から情報セキュリティ研修を継続的に実施していることで、職員の意識レベルが向上した。						
市民や議会の要望							
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他( )						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 <input type="checkbox"/> 民間委託		名称	委託内容			

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		15,767	12,434	14,118
人件費【2】 (千円)		7,140	8,736	8,484
職員数	正規職員	0.85 人	1.04 人	1.01 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		22,907	21,170	22,602
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	22,907	21,170	22,602
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
全職員数(嘱託・臨職除く) 人		688	677	683
研修受講者数 人		120	411	287
活動単位当たりコスト(【A】 / 【B】 )		33,295 円	31,270 円	33,092 円
市民1人当たりコスト(【A】 / 人口)		190 円	176 円	189 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	指標設定の考え方	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	総務省情報セキュリティ評価ツールによる評価点(点式)	セキュリティレベル A: 4.5以上、B: 3.5~4.5、C: 2.5~3.5、D: 1.5~2.5、E: 1.5未満	目標 3.5 実績 2.8	3.5 3.0	達成率(%) 85.7%
	式)		目標		達成率(%)
	式)		実績		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民の生命・財産・プライバシーを守るため必要な事業である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	情報漏洩事故が絶えない社会情勢のなか、情報セキュリティを脅かすリスクは日々変化しているため、情報セキュリティ対策は継続的かつ長期的に取り組む事業である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	庁内情報化の規模と人員の配置から処理する事務量を考慮すると、コストは低く抑えられていると考える。
		受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	情報セキュリティ意識の継続的な啓発により、セキュリティレベルをより向上させることができる。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	目標値には至らないが向上しており、引き続き取り組むことで達成度は上昇すると考えられる。
		成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	評価の理由	
	17年度に組織体制を整えた後、具体的な取組をすることで平均的なレベルになったことから、今後、より力を入れて取組むことで、さらにセキュリティレベルが向上すると考える。情報セキュリティに対する脅威は日々変化するため、引き続き組織全体での取組みを強化する必要がある。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	長期的かつ継続的に実施するため、各部署に設置する情報化推進員を中心に、日常業務と結びつく具体的な取組みができるような組織のシステム作りを考える。	